



ごみ分別の冊子

**問** 町では今後、どの位のごみを減量させていく予定か伺います。

**答** 町民生活課長 環境センターに搬入されるごみの量は8,357トンド、そのうち可燃ごみは6,093トンです。3年間で可燃ごみの20%削減を目指しています。

**問** 事業系ごみ、他市町村からのごみの流入を防ぐ取り組みは。

**答** 町民生活課長 本年9月1日から環境センターで、免許証による町内在住の確認を行っています。また、



答

問

他市町村からのゴミの流入を防ぐ取り組みは  
運転免許証による  
確認を行っています

稲村 美代子

一般廃棄物収集許可業者の車両の展開検査、事業所への分別指導等を行っています。

**問** 町で推進している「みんなで支え合うまちづくり」とは。

**答** 町長 町民一人一人の日常的な助け合いを通して、健康長寿の町を目指していきたいと考えています。

**問** 今後の具体的な予定は。

**答** 健康福祉課長 本年度中に7地区で話し合いの場を立ち上げます。

**問** 町では就園奨励費補助制度の中で、第3子以降について兄・姉のカウントを撤廃していますが、第2子について撤廃した場合の人数と町負担額は。また、今後の町の取り組みは。

**答** 教育総務課長 私立幼稚園の該当者は16名で約277万円です。

**答** 子育て支援課長 町立保育園等の該当者は41名で約780万円です。

**答** 町長 第2子のカウント撤廃についての問題は充分認識しています。今後、子育て支援の充実、少子化対策に取り組んでいきます。



台風21号 町民への対応はどうであったか  
避難者8名、土のう積み2ヵ所、橋通行止め9ヵ所

答

栗岩 輝 治

**問** 台風21号で、避難者の人数と10月22日から23日の総雨量は。

**答** 総務課長 中山小体育館に2世帯8人が避難、総雨量は18年ぶりに227ミリを記録しました。

**問** 土のう積み場所は。

**答** 総務課長 新江川下流と上伊草ベトナム付近の2ヵ所です。

**問** 避難準備情報が深夜に発令されたが、住民への対応の改善が必要だ。

**答** 総務課長 今後、検討して行きます。

**問** ベトナム付近の土のう積み場所は、側溝の向きが水路に対し、鋭角となっており、大雨の都度側溝に流



上伊草（ベトナム付近）の土のうが積まれた場所

れる。改善が必要だが。

**答** まち整備課長 既に、現地対応済みで、工事の準備に入っています。

**問** 国保加入者は、年金生活者、自営業者など、収入の少ない方が加入している。高齢者も多く、当然病気にかかり入院時、高額の治療費用に苦慮しています。入院費用についての説明の改善が出来ないか。

**答** 健康福祉課長 入院費用は、保険負担分と個人負担分に分かれています。食事代やオムツ代などは個人負担です。役場の窓口での説明も丁寧に行っています。

**問** 生活保護制度は、憲法で保障された制度です。生活保護申請の回数制限はあるのか。

**答** 健康福祉課長 回数制限はありません。

**問** 川島町の保護基準は最低ランクだ。法的根拠を聞きたい。

**答** 健康福祉課長 級地の決定は、保護法第8条で決められています。





問 答

問

川島排水機場の排水能力は十分か

建設時(36年前)は、

時間雨量80ミリを想定

小 峯 松 治

問 台風21号は、埼玉県内でも大雨を降らせ、各地で大きな被害をもたらした。川島町役場屋上の雨量計も22日から23日の2日間で230ミリ近くを観測した。田んぼが海のような光景で、排水が溢れ道路も排水路のような状態でした。水防体制及び町長の指示は、どのようにしたのか伺います。



台風21号で冠水した田んぼと道路

答 町長 町民に対し、台風に関する注意喚起の周知、水防体制については、タイムラインに基づき対応の準備を遅滞なく進めるよう指示しました。また、荒川上流河川事務所か

らのホットラインを受け、避難所の準備を進めるよう指示しました。

問 今回の雨で、川島排水機場へ通ずる安藤川があと少しで溢れるような状態であった。排水機場は、毎秒30トンの排水能力とあるが、安藤川が溢れても稼働可能なのか。

答 まち整備課長 今回の雨で、安藤川は最下流で平常時より4m上昇しました。排水ポンプは安藤川が溢れても駆動機閥室に浸水しなければ稼働可能です。但し、入間川の水位がある一定以上になると堤防保護から稼働停止となります。排水機場は、時間雨量80ミリを想定して建設されました。

問 平成28年9月から選挙権が20歳から18歳に引き下げられました。若者の投票率が低いことについて町長の見解を伺います。

答 町長 若者が町づくりや政治に関心を持っていただきたい。また、重点的に若者世代への選挙啓発を推進しなくてはと考えています。

問 小学校の統合に関連し、地域の公民館活動等の来年度からのあり方進め方などは、どのように考え、どのように協議しているのか。また統合後の校舎の利活用について、来年度以降の協議の進め方について、どのように考えているのか。

答 町長 学校跡地の利活用については、これまでの教育委員会の議論には限界があったと考えています。30年度から町長部局を中心に検討していきます。もう一度白紙の状態

で、高い視野、高い視点から改めて考え方も見直さないといけないと考えています。

問 学校跡地の利活用は

答 高い視野、高い視点から改めて考えていく



飯 野 徹 也



廃校となる出丸小学校

答 教育長 地区運動会については、統合校と連携して合同で実施することとなり、実施に向けた作業を進めています。また七つの祝いや、地域子ども教室などの事業についても、見直しが検討されています。

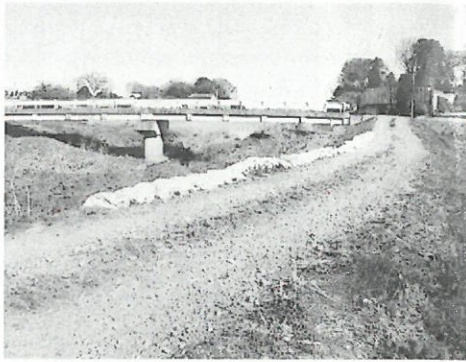
問 町内の防犯灯の整備状況、設置の要件、小中学校の通学路の整備状況、特に田圃路などの整備の考えは。

答 町民生活課長 町全体で2707基整備しています。新設の要件は、集落内で、区長からの申請に基づき整備しています。通学路については、教育委員会と協議、整備しています。

問 合併処理浄化槽の維持管理の状況、管理費助成制度の利用状況は。

答 町民生活課長 保守点検の実施率は、2253基80%です。維持管理補助制度は1205人の方が利用しています。今後さらに周知啓発を図り、制度の活用に努めます。





新江川の越水地点

**問** 東松山市との境を流れる新江川の、友田橋下流の越水対策についての対応は。

**答** 町長 新江川の越水対策ということで、これまで排水機場の整備を県にお願いしてきましたが、堤防のかさ上げに、単に、土を盛るということでなく、色々な方法の検討を進めて参ります。

**問** 企業との災害時の一時避難の協定について、どのように考えているのか。

**答** 総務課長 本年は、4月に操業を開始したG L P川島との間で、洪水発生時に2階の通路部分を、一時避難所として施設を提供していただく協定を、操業開始に合わせて締結しております。

そして、株式会社オータ川島店の立体駐車場の一部についても、一時避難所としての施設提供の協定締結に向けて、現在日程調整を行っております。今後につきましても、町民の安全・安心のため、災害時の協定締結先を増やしていきたいと考えております。

**問** 給食センターの、厨房設備のリニューアルについては。

**答** 教育総務課長 児童・生徒の食の安全・安心の観点からも、老朽化した厨房設備の更新を30年度から34年度の間にかけて、食器、コンテナ、食缶洗浄機、真空冷却器等を計画的に更新をして参ります。



問

友田橋下流の越水箇所の対応は

答

越水の対策を検討して参ります

石川 征郎

**問** 10月に接近した台風21号による農業被害の状況は。

**答** 農政産業課長 冠水被害はありましたが、台風通過後は順調に排水はでき、農業経営に大きな影響を与える被害はありませんでした。

**問** 学校給食に関して、家庭とのトラブルや苦情はありますか。

**答** 教育長 大きな事故もなく、家庭とのトラブルや苦情が寄せられていない事はありません。

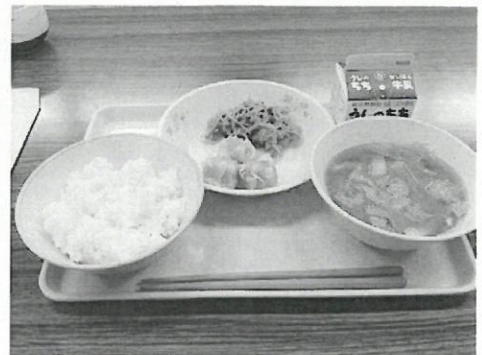
**問** 学校給食における、県内産、町内産の食材の使用状況は。

**答** 教育総務課長 11月の調査では、町内産を含む県内産の使用割合は

学校給食における  
地元産食材の使用割合は

県内産は28.2%使用

まつばらけんし  
松原謙司



さらなる地元産食材の利用を

**問** 埼玉県と全国の学力学習状況調査が実施されましたが、以前と比較して今年の状況をどのように捉えていますか。

**答** 教育総務課長 埼玉県の調査では小学校は県平均を上回り、中学校は英語に課題がありながらも、県平均に近づいています。全国の調査では、特に中学校は平成27年度には国語、数学ともに全国平均を大きく下回っていましたが、今年は、中学校ともに、いずれの教科も平均に近づいています。

**問** 学力向上に向けての施策は、どのような事を実施していますか。

**答** 教育総務課長 「英語検定料」の補助と講座の実施、かわべえかわみんな家庭学習ノートを使い家庭学習の推奨、町費で購入した学習ドリルを全小中学生へ配布するなどです。





三島地区の物流施設

**問** 川島IC南側地区開発の現況と、今後の希望的展開策は。

**答** まち整備課長 県が進める産業誘導地区選定状況につきましては、国との農林調整がより厳しい協議のため多くの時間を要しています。

**問** 三島地区開発で町への税収効果予測は。また、その他の税収効果は。

**答** 税務課長 農地から宅地への変更でH29年度課税は7百万円程度増、H30年度課税は4千万円以上を見込み、今後は緩やかに上昇予想です。

**問** ふるさと納税の寄附件数と金額の推移は。今後の展開策の考えは。

**答** 政策推進課長 11月30日以前で323件、736万円で昨年より4割減っています。町外に出ている家族の方にもPRし、川島町の特産品が手に入る有効な手立てと認識し、さらなる納税が進むように検討していきます。

**問** ふるさと納税の返礼品としてのセスナ機での遊覧飛行があるが、他市町村ではあるのか。

**答** 政策推進課長 ふるさとチョイスのサイトでは9団体で、県内では川島町のみで、川島町を応援したい、貢献したいと思う方から寄附がいただけるような仕組みを進めます。

**問** 小型家電の回収ボックスが設置されているが、回収状況と対応策は。

**答** 町長 H25年4月の小型家電リサイクル法に基づき、町では4カ所に回収ボックスを設置し、H27年度は約11トン、H28年度は約8トンを回収し、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に協力しています。



問

町の活性化は

都市計画や産業振興などを  
鋭意推進します

菊地敏昭

## 学校跡地等活用調査特別委員会行政視察報告

平成29年10月17日  
群馬県沼田市みどり市

■利根沼田テクノアカデミーの学校跡地利用について(沼田市)  
利根沼田テクノアカデミーは、旧南郷小学校に平成28年4月に開校した職業訓練校です。旧南郷小学校は、平成14年に廃校となった小学校で、校舎を事務室・教室・宿舎・食堂として、体育館・グラウンドを訓練施設として活用しています。施設の賃貸費は無料で、年間約80万円の維持費は、アカデミーが負担しています。

開校1年目の平成28年度は、板金と瓦の2つのコースを開設し、平成29年度は、さらに大工・水道設備コースを新設しています。

そして平成28年5月には、平成28年3月に廃校となった旧平川小学校を利用して、ドローンの職業訓練校も開校しています。

■旧神梅小学校の跡地利用について(みどり市)  
平成23年3月をもって、廃校となった旧神梅小学校は、みどり市が平成23年度から企業誘致を募集し、平成28年3月に群馬県内でも1番の建設会社である、関東建設工業株式会社からの事業提案を採用し、現在改修工事を進めています。



職業訓練施設として利用している旧南郷小学校体育館

提案された内容は、校舎を利用して、フグやヒラメなどの魚陸上養殖、レタスなどの野菜水耕栽培、校庭を利用してマンゴーや柿などの果物のハウス栽培、太陽光発電を行う計画です。また体育館は、避難所と地区公民館の移設、校庭の一部は体育館の駐車場として、市が利用する計画です。

学校の跡地活用については、沼田市のように公的機関への貸し出しや、学校施設の規模を考えると、みどり市のように一部を民間企業に貸し出し、維持管理費の節減と地域の活性化を目指すということも、広く検討してもいいのではないかと感じました。



◆議会運営委員会所管事務調査

議会活性化の取り組みを視察

■栃木県那珂川町の議会活性化

那珂川町は、栃木県と茨城県との県境に位置し、人口は約1万7千人で、議員定数は現在15人ですが、平成29年6月議会で2名減とし、平成30年4月の町議選から13名となります。

那珂川町議会では、平成19年3月から、議員全員による議会改革特別委員会を設置して、議会改革に取り組んでいます。そして平成26年4月には、議会基本条例を制定しました。今回の定数削減についても、平成28年6月から、議会改革特別委員会で1年間検討し実

施した、とのことでした。

議会基本条例は、町民が議会に対してどのような考えをもっているかなど、成人式等の機会にアンケートを実施した結果、議会と町民の考えに温度差があったため、議会が町民に理解されるためには、どうしたらよいかを考え、基本となる条例を制定した、とのことでした。

議会基本条例では、議会全員による議会報告会を、年1回以上開催することとしています。議会報告会は、開催チラシを全戸に配布して、農繁期を外してできるだけ夜間や休日に開催していますが、平均10数名と参加者が少ないため、昨年度から3つの常任委員会ごとに、所管する関係団体との意見交換会も実施している、とのことでした。

那珂川町役場



■福島県会津坂下町の議会活性化

会津坂下町は、福島県の北西部に位置し、人口は約1万6千人で、議員定数は16人となっています。会津坂下町議会では、平成22年

6月に議会基本条例制定特別委員会を設置し、平成23年9月に議会基本条例を制定しました。そして平成28年4月からは、さらに議員7名による議会改革特別委員会を設置して、議会改革に取り組んでいます。

議会基本条例では、町民の意見を把握し、政策立案に反映するため、適宜、懇談会を開催することとしています。町民・議会懇談会については、日程や意見交換のテーマを、各地域づくり協議会の希望どおりにするなど工夫しましたが、参加者が10名前後で、特に若い人や女性の参加が少なかった、とのことでした。

そのため、平成29年度からは新たに「ぼんげ未来トーク」として、町内在住、在勤、在学の5名以上が集まれば、そこにテーマに沿った常任委員会の委員を派遣する、参加募集型から議員派遣型へ変更して実施する計画であるとのことでした。

- ① 調査期間：平成29年11月9日(木)～10日(金)
- ② 視察地：栃木県那珂川町・福島県会津坂下町



会津坂下町役場

所管事務調査を終えて

委員長 山田 敏夫

川島町議会においても、町民の意見をさらに把握し、政策立案に反映するために、各常任委員会の関係団体との意見交換や、議員派遣型の意見交換会の実施など、今後この研修を参考として、議会運営の活性化に取り組んでまいります。



# 川越地区消防組合議会

菊地 敏昭  
飯野 徹也  
小峯 松治

第4回定例会は、平成29年10月3日開催されました。

上程された議案は、議案第7号、議案第8号の2件です。

議案審議の前に、消防庁舎及び訓練施設等に関する特別委員会より、経過と報告があり特別委員会は、今後慎重に調査する必要があるとして、継続審査とすることにしました。

議案第7号は、平成28年度川越地区消防組合一般会計歳入歳出決算認定についてです。平成28年度一般会計予算総額50億3,925万5千円に対する決算額は、歳入50億2,112万3千円、歳出48億9,765万3千円、歳入歳出差引残額1億2,347万円とするものです。質疑の後、採決が行われ、全員賛成で認定されました。

議案第8号は、平成29年度川越地区消防組合一般会計補正予算(第1号)についてです。補正内容は、歳入歳出にそれぞれ1,998万円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ53億3,337万8千円とするものです。内容は、川越西消防署空調設備改修工事の追加費用として1,998万円を増額するものです。質疑なく、採決の結果、全員賛成で可決されました。

続いて管理者より、同意第4号監査委員の選任につき同意を求めることについてが追加提出されました。監査委員「戸口元夫」氏の任期が10月13日で満了となるため、新たに「佐藤 明一」氏を選任したいとするもので、全員賛成で同意されました。

(小峯)

## 議会日誌

### 11月

- 3日 生涯学習町民フェスティバル
- 9～10日 議会運営委員会所管事務調査
- 23日 農業商工祭
- 24日 議会運営委員会  
議会全員協議会

### 12月

- 1日～8日 12月定例会
- 8日 議会全員協議会  
議会報編集委員会
- 22日 議会報編集委員会

### 1月

- 6日 消防出初式
- 7日 成人式
- 9日 議会報編集委員会

## 表紙解説

新年を迎えた1月6日に、全国各地で消防出初式が挙行されました。消防出初式は、江戸時代における町火消の新年行事として始まりました。現在では、全国各地で1月6日に開催する事が恒例となっています。当町に於いても、同日に、役場にて、川島町消防出初式が挙行されました。表紙写真は、消防団員の日ごろの訓練の成果として、放水を披露している様子を収めました。消防団員の皆様は、普段は仕事をしています中、有事に備え訓練をしています。地域の安全を守るためにご尽力頂いている消防団員の皆様へ感謝を申し上げます。

(写真・文章／松原)

## 編集後記

年々、年賀状を書く人が少なくなり、今年はピーク時の3分の2の発行枚数だとか。人口の減少、他人との付き合い方の変化、SNSの普及等が要因だろうです。

さて、昨年7月発行の議会だよりから表紙が刷新され、3回目となりました。白地にバステル調の色合いのさわやかな表紙になっていきます。今後も、更なる充実を目指し、委員一同、心を新たに頑張ります。

また、議会はどなたでも傍聴することができます。12月議会を傍聴された方からは「町が今、どんなことに取り組んでいるのか分かって勉強になった。」という感想をいただきました。ぜひ、たくさんの方に足を運んでいただきたいと思っています。

(稲村)

## 議会報編集委員会

- |      |     |
|------|-----|
| 委員長  | 爲 水 |
| 副委員長 | 栗 岩 |
| 委員   | 遠 山 |
| 委員   | 小 松 |
| 委員   | 稲 村 |
| 委員   | 松 美 |
| 委員   | 山 尚 |
| 委員   | 原 治 |
| 委員   | 田 謙 |
| 委員   | 森 代 |
| 委員   | 田 子 |
| 委員   | 敏 司 |
| 委員   | 相 男 |

次回3月の定例会  
3月2日(金)  
開会予定です。